

次亜塩素酸ナトリウム希釈液を使った消毒方法

市販されている次亜塩素酸ナトリウム製剤 (塩素系漂白剤)

市販されている次亜塩素酸ナトリウム製剤は、製品によって濃度が異なります。一般によく市販されている台所用漂白剤は5%といわれますが、濃度の記載がないものは、濃度の保障はありません。

原液濃度	用途
1%	哺乳瓶用消毒
5%	台所用漂白剤など
6%	消毒、殺菌用



◆ 使用塩素濃度

市販されている次亜塩素酸ナトリウム原液を希釈して使用します。

	原液濃度	希釈	方法	用途
次亜塩素酸 ナトリウムの調整	1%	50倍	原液10ml+水500ml	日常の拭き取り清掃 調理台や調理器具 床、ドアノブ、おもちゃ等
	5%	250倍	原液10ml+水2.5ℓ	
	6%	300倍	原液10ml+水3ℓ	
次亜塩素酸 ナトリウムの調整	1%	20倍	原液10ml+水200ml	新型コロナウイルスに対する 環境消毒は0.05%が推奨 されています
	5%	100倍	原液10ml+水1リットル	
	6%	120倍	原液約8-9ml+水1リットル	
次亜塩素酸 ナトリウムの調整	1%	10倍	原液10ml+水100ml	おう吐物や排泄物で 直接汚染された場所 排泄後のトイレの便座等
	5%	50倍	原液10ml+水500ml	
	6%	60倍	原液10ml+水600ml	

◆ ペットボトルとそのキャップを使用した消毒液の作り方

【例】原液濃度が5%の次亜塩素酸ナトリウム製剤を使用する場合

使用塩素濃度	方法
0.02%	原液2ml(ペットボトルキャップ半分量)+水500ml
0.05%	原液5ml(ペットボトルキャップ1杯)+水500ml
0.1%	原液10ml(ペットボトルキャップ2杯分)+水500ml



ペットボトルのキャップ容量は種類によって異なる場合がありますが、使用するキャップの量を目安に使ってください(おおよそで大丈夫です)

◆ 次亜塩素酸ナトリウムを使用するときの注意点

- ◇ ペットボトルを使用する場合、誤って飲まないようにラベルを貼るなどして注意しましょう。
- ◇ 次亜塩素酸ナトリウム(原液)は冷暗所に保管し、期限内に使いきるようにします。
- ◇ 消毒液はその都度、希釈して作成するのが望ましいですが、感染性胃腸炎の流行期には、おう吐等がおきたときにすぐに使えるよう、作り置きしておくこともできます。
- ◇ 消毒に有効な塩素成分は光と温度によって濃度がさがるため、希釈液作成後は密閉して冷暗所に保

2023年11月改定

管します。きちんと密閉して暗所保存した場合、数ヶ月は濃度が保てるため、1～2ヶ月ごとに作りなおすのがよいでしょう。

- ◇ 使用する際は、換気を十分に行ってください。
- ◇ 金属を腐食させる性質があるため、消毒部位の材質によっては消毒後水拭きをしましょう。
- ◇ 手荒れの原因になるので、手指の消毒には使用しないでください。
- ◇ 希釈液を作る際は、直接塩素剤が手に付着しないように手袋をするか、こぼさないようキャップ半量にして2回に分けるなど注意してください。
- ◇ 霧吹きなどの容器等に入れて噴霧すると、目や鼻を痛めるだけでなく、細菌やウイルスを吹き上げることとなります。汚染した部位には噴霧しないでください。

◆ 衣類・寝具類の処理

- ◇ おう吐物や下痢便等で汚れた衣類や寝具類を取り扱う時は、処理する人が感染をうけないよう、使い捨てのビニール手袋とマスク、エプロンを着用します。
- ◇ できるだけ汚物をとりのぞいた後、0.02%次亜塩素酸ナトリウム液につけて消毒した後、他のものと分けて洗濯してください。※色・柄物は塩素により色落ちすることがあります
- ◇ 85℃以上で60秒以上、熱湯消毒する方法もありますが、布の重なりまで高温にし、温度を低下させないために、鍋で加熱し続けるなどの工夫が必要です。
- ◇ 布団などすぐに洗濯できない場合、よく乾燥させて、アイロン、布団乾燥機などを使用して高熱にあてる方法もあります。

◆ 環境の消毒

- ◇ 日常的によく手が触れる場所、水道の蛇口、ドアノブ、電気のスイッチ、リモコン等を、定期的に消毒液(0.02%次亜塩素酸ナトリウム)をしみ込ませた布やペーパータオルなどで拭きます。

◆ トイレの消毒

- ◇ 便座やその裏側、便器の蓋など汚染されやすいところは、0.1%次亜塩素酸ナトリウム液で拭き取り消毒します。
- ◇ 便器内は感染源になるため0.1%次亜塩素酸ナトリウム液をまんべんなく流し、掃除用ブラシで飛び散らないようにこすります。
- ◇ その後、ふたをしてしばらく浸してから水を流します。
- ◇ 流水レバーやドアノブ、ペーパーホルダーなど、手がふれる場所を0.02%次亜塩素酸ナトリウム液で拭き取り消毒します。

◆ 手洗い時の注意

- ◇ 消毒や処理等の後には、必ず流水でしっかり手を洗ってください(30秒以上)。
- ◇ 手洗い後に水を止める際は、手を洗う前に触れた蛇口を触れないように、ペーパータオルなどを使って水を止めます。

**拭き取った布やペーパータオルは
ビニール袋に密封して捨ててください**

